工業つ子

No.103
—発行日—
2014.08.09
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

最優秀賞二部門獲得

自動車整備 ＆家具工芸 ものづくり九州大会

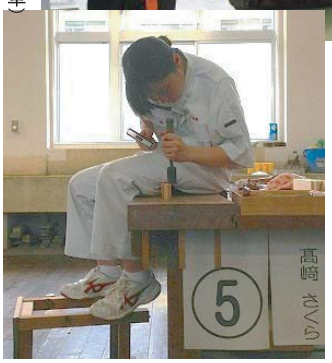
七月十二、十三日に行われた高校生ものづくりコンテスト九州大会。本校からは自動車整備・電子回・電気工事・家具工芸の四部門に出場しました。

最優秀賞 九州から全国へ 自動車整備

先日のものづくり県大会で最優秀賞を獲得したM3糸瀬燿孝君。今回出場した九州大会でも見事、最優秀賞を受賞しました。

本校を含めた参加校が二校だった県大会と比べると、圧倒的に厳粛かつ静かな雰囲気だったというこの九州大会。意気込もうにも、かかるプレッシャーもひとしおだったそう。後日のインタビューで糸瀬君は「一位になれて、非常に嬉しい。ここまで来たからには日本一を目指す」と話していました。糸瀬君の最優秀賞で来年の若年者ものづくり大会への出場権も獲得。歴代の先輩方の活躍も合わせ、もはや自動車整備といえば長崎工業、と言っても過言ではないでしょう。

▶速さと正確さを求めて(自動車)



◀緊張している自分との戦い(工芸)

◀目指せ日本一！

最優秀賞 努力が実って…家具工芸

家具工芸部門に今年度出場したのはI2高崎さくらさん。この部門は県大会がなく、いきなり九州大会。はじめて大会に出場し、競技した高崎さんに話を聞くと「緊張した」とのこと。

結果は最優「まさか自分が賞を取れると思っていなかったので、ビックリした」と高崎さん。

また、次年度に向けては「次は全国の大会に出られるようがんばる」と意気込みを語ってくれました。

優良賞 来年に向けて 電子回路

電子回路組立部門に出場したのはJ2森龍馬君。森君は帰宅時間ギリギリまで作業に熱中し、練習を重ねていました。

結果は優良賞を受賞。大会後のインタビューで「少し焦ってしまった。来年は全国にいけるように頑張りたい」と森君。指導をなさった山口先生からは「来年もある。頑張っていこう」とコメントしていただきました。

来年こそは全国にいけるように頑張ってほしいです。

▶熱中して取り組む森君

優良賞 後輩へ託す思い 電気工事

電気工事部門にはE3興賀田萌さんが出場しました。結果としては三位だったものの、興賀田さんは「悔しいが、良い経験になったと思う。後輩には、来年の大会で優勝してほしいです」と話してくれました。

また、大会後のインタビューで「将来は電気工事を活かせるような仕事に就きたい」と語った興賀田さん。その夢が叶うように、これからも頑張ってほしいです。そして一、二年生の方々は三年生の意志を継いで、来年の電気工事部門での優勝を目指してこれからの練習を頑張ってください。

▶一つ一つの作業に思いを込めて

今日の一枚 ～一期一会～

爽やかな笑顔あふれる福来みかん

▼皆笑顔ではい、チーズ。

近頃の天気はころころ変化しますね。十分前までは太陽がぎらぎらとしていたのに、ふと窓の外を見ると雨がぽつぽつと。

さて今回の一枚は、七月二十七日から茨城県で行われた茨城総文祭の新聞部門での一枚。会場設営や式の司会進行、参加している人の道案内や誘導などを頑張っていた方たちです。インタビュー中に良いお土産屋の場所やこだわりの納豆を教えていただきました。

茨城総文祭の詳しい内容については次号にて。（松尾）

後悔の仕方

「行動せずに後悔するより、行動してから後悔する方がましだよ」—私がよく友人に言われる言葉であり、勇気づけられる言葉です。

テストの二週間前にも関わらず「まだ大丈夫」と高をくくって遊んでばかりで、勉強をせず、直前になってから「あぁ、なんであの時勉強しておかなかったのだろう」と後悔をすることってありませんか。大丈夫が積もり積もって「大丈夫じゃない」に変わる瞬間です。このときに人は《行動しなかったことを後悔》します。

私はギリギリにならないと物事に取り組めないタイプです。長期休暇の課題も終盤になって焦り始め、前日に徹夜で終わらせることもしばしば…新聞部の活動の中でも自分が担当した記事を書かず、締め切りギリギリに「もっと早くに書いておけばよかった」と後悔することもあります。

後悔はしないのが一番ですが、後悔をしたとしても最善を尽くした結果ならばプラスの後悔として自分に吸収され、これからの自分に活かされていくのではないかと思います。

テスト勉強などに限らず、朝早く起きるのが苦手だから早起きを習慣づける。所属する部活の試合で自分が足を引っ張って負けてしまったのなら、人より多く練習をするなど、後悔をバネに今後どうするかを考え行動することが重要なのです。

行動せずに事を終わらせてしまうより、まずは動いてみる。行動を起こすことが全ての源泉なのです。そうすると、今の自分より一歩前に進んだ自分になることができ、そこには今とは違う世界が広がっているかもしれません。（畠道）

男子に負けない！ ガールズパワー炸裂

ものづくり長崎大会、電気工事部門にて、女子選手で初めて最優秀賞という快挙を成し遂げた興賀田さん。今回はそんな彼女の素顔に迫ってきました。

◆ものづくりを始めたきっかけは。

—実習をしてみて楽しかったので、先生の呼びかけでものづくりを始めた。

◆将来は、どんな職業に就きたいですか。

—技能五輪に出場する会社へ就職したい。

◆電気工事の魅力は。

—練習するにつれてどんどん上達するのが分かり、練習した分だけ上手くなるところ。

◆男子にここは負けないというところは。

—ひとつひとつの作業の丁寧さ。

これからも夢の実現へ向けて、日々頑張ってください。

▲興賀田さんの素顔

青春日記♪

夏休みに入ったにも関わらず、朝から補習↓課題研究↓部活の3コンボで早くも精根尽き果てしまいそう。就職に向けた活動も活発に行われ、必死になって自らを売り込む文面を考えています。履歴書書きなんて遠い未来の話だと思ってたんだけどね……。早くひとり立ちしたいけれど、まだ学生のままでいたいと思う、悩ましいジレンマを抱きながら送る毎日。

そんな甘えた考えを振り払うため「もうすぐ社会にでるんだ」という自分への意識付けを兼ね、志望する会社の見学会へ行ってきました。

決戦の地（？）は愛知。前泊のため、会の前日に朝早くから長崎駅に行き、特急に乗って博多へ。そこから新幹線に乗り換え、会社のある名古屋へ。移動にかかった時間は博多まで二時間、名古屋まで三時間の合わせて五時間。もちろんその間には車内販売の甘味を味わいました。「博多通りもん」なんかいくらでも美味しく食べられるよね。

名古屋に着くと、お土産を大方試食し尽くしたところで宿泊先で一泊。翌日、朝から見学会に参加し、見学後に会社の食堂で昼食の坦々麺をいただいた後、解散。名古屋駅でお土産を購入し、博多へ急ぐ。博多に到着後、長崎行き出発の隙間を縫って豚骨ラーメンを一杯。空が暗くなったところで長崎へ向かい、これまた車内販売に手に入れたカステラを口にしながら帰路につきました。

以上が私の会社見学会の概要でございます。えっ？ただ食べてるだけじゃないかって？だって見学面白くないでしょ。それに「食べる」という行為は旅をより一層楽しくしてくれるものです。

え？つまりなにが言いたいのかって？今回の旅はとても楽しかったということですよ。（山田）

各種スポーツ・文化　九州大会

この頑張りを次のステップへ

ヨット　九州草優勝

海へ風に乗って

六月十二日から十五日まで、福岡県の小戸ヨットハーバーにてヨット競技の九州大会が行われました。強風が吹き、その上体調が優れない選手が出てしまったりと、少しトラブルがあったそうです。しかし、結果はFJ級のソロで元津・川崎・三井・水本のB艇が四位、濱本・松本のA艇が七位に入賞。団体では二位に輝いて、見事インターハイ進出を決めました。試合後にキャプテンのI3濱本郁さんは「優勝はできなかったけど、成長することができたと思う」とコメント。次への意気込みを聞くと「波にも風にも負けず、己にも負けずに、団体優勝を目指します」と、目を輝かせながら答えてくれました。インターハイは八月四日から八日まで、神奈川県江の島ヨットハーバーにて行われました。この結果は次号でお知らせします。

▶満面の笑み（ヨット部）

◀後輩への想いを語る（ソフトテニス部）

ソフトテニス　九州ベスト8

「楽しくプレーできた」

七月十二日から十三日に鹿児島県の東開庭球場で開催されたソフトテニス九州大会。本校からは団体と個人にM3中島翔悟・A3古川暢哉ペア、濱清水陸治・M2辻村司ペアが出場し、団体ベスト8という好成績を残しました。

試合を振りかえりキャプテンのM3林田康祐君は「負けた相手は優勝校だったが、手ごたえはあった。最後の試合を楽しくプレーすることができたので良かった」とやりきった表情で話してくれました。最後に「優勝してください」と後輩たちへ思いを託していました。

美術部門　九州大会　優秀賞

個性派勢ぞろい

六月十九日から二十一日までの三日間、鹿児島大会に参加した高美展九州大会初日は開会式と鑑賞会があり、繊細で迫力のある生徒の作品に圧倒されました。二日目は生徒との交流会。軽石を使ったモビールや、灯篭などを製作しました。お互い初対面のはずが、皆打ち解けあって作業ができていました。個性的な作品がそろいました。

私自身、実際に参加して作品に対する視野も広がり、とても貴重な体験ができたと思います。参加できてよかったです。（杉本）

▶モビール製作

スポーツトピックス　全日制＆定時制野球

惜しくも一回戦敗退　全日制

七月十三日に高校野球長崎地区予選大会、長崎工業高校の一回戦が行われました。相手は大崎高校。最初は長工がリードしていましたが、大崎高校が追い上げ、最終的には3対4で長工が負けてしまいました。試合後、キャプテンM3岩永拓巳君は「思いがけないところで負けた。後輩には練習を一生懸命取り組んで、甲子園を目指してほしい」と答えてくれました。来年の活躍に期待です。

いざ全国の舞台へ　定時制

〈全・定野球部の交流〉

昼と夜、時間帯は違いますが同じ校舎で学ぶ定時制。定時制にも軟式の野球部があり、活動しています。なかなか他チームとの練習試合が組めない定時制。全日制の野球部と練習試合を組んでいます。今回定時制の出場が決まりました。全日制の野球部が全国大会への出場を決めました。全日制の野球部キャプテン岩永君は「頂点を目指して頑張ってほしい」と期待を込めてエールの一言。

〈定時制野球部に聞く〉

定時制野球部キャプテンの工業技術科四年生の野田雅さんにインタビュー。

「雑草魂で全国を勝ち抜きたい」と力のこもった意気込みを話してくれました。また、尾崎監督は「今年は経験者が多いので、守備の面では一安心。初めての全国大会だけれど、自分達のプレーをしてほしい」と話してくださいました。

大会は八月十九日に東京で。初戦を勝てば神宮球場にて試合ができるそうです。練習時間を工夫しながら頑張る定時制。全力で悔いのないプレーを！応援しています。

全日制＆定時制の練習試合の様子▼

▲爽やかスマイル　岩永君

▶エースで4番、キャプテンの野田さん

（全・定の練習試合にて）

長工の好感度アップ!?　学校説明会

七月十三日と二十日にブリックホールと時津カナリーホールで行われた本校の学校説明会はそれぞれ中学生166人、58人の計224人、保護者281人、97人の計378人の参加者で会場を埋めました。

参加した中学生に感想を聞くと、「行きたいという気持ちになった」など「父が工業系の仕事をしているのでそういう仕事に就くために行く高校を迷っていたので、良い参考になった」と今回の学校説明会によってこれから進路に役立つ情報を得られたそうです。学科についてはそれぞれ電気科や機械系学科に行きたいという生徒が多かったです。その理由には「【ものづくり】が好きだから」や「祖父が資格を持っているので自分も同じ資格を持ちたい」「好きなものづくりを発展させて人の役に立ちたい」など自分のしたいことや、目標を立てている中学生が多かったです。保護者の方に感想を聞いたところ「生徒の説明がわかりやすかった」や、「部活についての説明が少ない」など、わかりやすいけど少し説明が足りていない部分もあったようです。様々な夢をもって学校説明会に来た中学生を見ると、去年までの自分を懐かしく感じます。中学生の皆さん、夢へ向かって頑張って下さい。来年が楽しみです。

シリーズ　溶接1!2!3!

鉄をつくる。

先日、会社見学に行き、鉄がどのようにつくられているのかを見てきました。広島にあるこの製鉄所は、全てが想像していたより遥かに巨大で、特に鉄を熱して不純物を取り除く転炉に心奪われました。（鋼）は目に痛いほどの鮮やかなオレンジで、星屑のように飛び散る火花はこの世のものとは思えない程美しかったです。それから固められ、薄く延ばされた鉄板は欠陥がないか人の目によっても調べられます。少しの欠陥も見逃さず、質の高いものを提供する徹底ぶりに感銘を受けました。

私たちの生活を支えてくれている鉄。それは、鉄に対して真摯に向き合う技術者たちの努力の結晶でした。（甲斐田）

▼福山城なり～

▲ロボットだって自由自在

一年生な☆日々

ついに自分の書く番が回ってきた時には、もう夏休み。皆さんは、どのように過ごしていますか。私は毎年「今年こそは早く課題を終わらせよう」と意気込むのですが、結局夏休みの終わる一週間前にいつもの課題で追われ、今年は夏休み後半に補習が待っているので、できるだけ早く終わらせたいと思います。皆さんも一緒に頑張りましょう！

さて、先日新聞部女子一同で港祭に行きましたが、時間が経つにつれてどんどん多くなる人。花火が始まる前に屋台で何かを買おうと思った時にはさっきなかったはずの行列が…。そこで屋台で買うことを諦め、コンビニに行ったところ屋台の値段を見て来たので金銭感覚がおかしくなり、勢いでたくさん買ってしまいました。そして急いで会場に戻り、着いた時には浴衣が着崩れ…。しかし、お目当ての花火はとても綺麗でした。またこの夏に見る機会があれば良いなと思います。

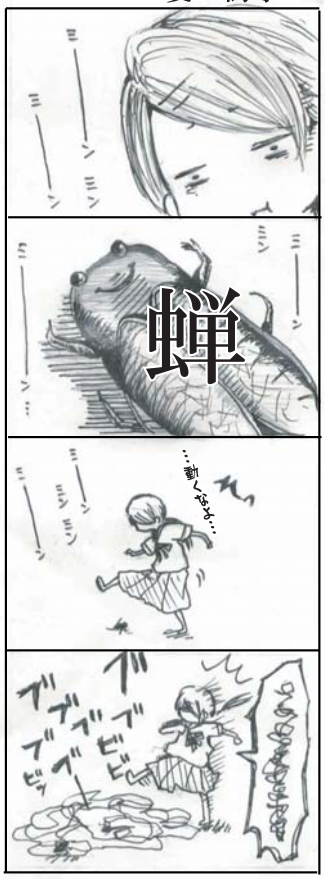
私が新聞部に入部した色々な経験を通じて自分自身成長できたら良いなと思ったからです。まだまだ未熟で取材などうまくできないこともありますが、これから宜しくお願いします。（平松）

編集後記

夏休み前半で作り上げたこの新聞。想像していた夏休みではなかったはずが、現実は部室でパソコンを打ち続ける日々。新聞部一同の汗と頑張りを是非お楽しみください。この詰まった新聞をぜひ是非お楽しみください。これからも先輩の足を引っ張らないよう頑張ります。

ビックリ！こふち生!!!

～一夏の衝撃～



※ゴキブリではありません。

（声にならぬ叫び）